



茨城ワイズメンズクラブ
2020年度-2021年度
12月報 Vol.160

強調月間テーマ

EMC-MC

THE Y'S MEN'S CLUB OF IBARAKI CHARTERED 2006



国際会長主題.....「世界とともにワイズメン」
アジア太平洋地域会長主題.....「100年を越えて変革しよう」
東日本区理事主題....「私たちは次の世代のために何ができるか？」
関東東部部長方針「地域に世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワ」
茨城ワイズ会長主題.....「もう一度みんなで集う場所をつくろう」

<12月例会プログラム>

と き:2021年12月3日(金)

19:00~21:00(予定)

と ころ:筑波学園教会礼拝堂
ハイブリッド開催(zoom)

司 会:熊谷 光彦

開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

ワイズソング:「いざ立て心熱くし」

(オンライン時はスキップ)

ワイズ信条:

(オンライン時はスキップ)

- 1、自分を愛するように
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1、世界的視野をもって
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ
権利が生ずることをさとろう
- 1、会合には出席第一

社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・祈祷:

メッセージ:福島 純雄 牧師

(筑波学園教会)

ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告:大澤 篤人

★巻頭言★「クリスマス特別クイズ(解答編)」

茨城クラブ 片山 啓

昨年巻頭言で「クリスマス特別クイズ」を紹介させて頂いた。解答はクリスマス例会で発表をと考えていたが時間的に行えず、1年間の保留となってしまった。

それでは翌年のクリスマス会でと考えたが、残念ながら今年のクリスマス会への参加も難しくなったことから、この巻頭言でその解答を解説とともに発表させて頂く。

出題は以下の7問であった。

----まず第4問までは、簡単な○×クイズを----

- Q1.「Christmas」は、「X'mas」と省略できる。
- Q2.「クリスマス・イヴ」とは、クリスマスの「前日」のことだ。間違いはない。
- Q3.「主イエス・キリスト」の誕生は、馬小屋の「飼葉おけ」だ。
- Q4.「主イエス・キリスト」が誕生したとき、東方の3人の占星術の学者たちも、星に導かれ「飼葉おけ」に来て祝福をした。

----第5問からは、3択問題を3問----

- Q5.「サンタクロース」の出身はどこか?(1)米国、(2)フィンランド、(3)ラップランド
- Q6.日本で最初のクリスマス祝会は何処で行われたか?(1)山口県山口市、(2)長崎県南島原市、(3)福岡県小倉市
- Q7.日本で最初に発刊された書物に紹介されたサンタクロースの名前は?(1)「三太九郎」、(2)「三太久朗守」、(3)「三太九楼州」

----クイズはここまで----

☆今月の聖句☆

わたしは知った 人間にとって最も幸福なのは 喜び楽しんで一生を送ることだ、と 人だれもが飲み食いし その労苦によって満足するのは 神の賜物だ、と。

コヘレトの言葉 3章 12~13節

解答と解説は以下のとおり。

- A1. × : クリスマスは Christmas と綴る。これは、キリスト(Christ)の礼拝(Mass)という意味で、ギリシャ語でキリストを「Χριστός」と綴る。これは、英字の「X」ではなく、ギリシャ語の文字「X(カイ)」である。そのため、後に最初の文字だけでもキリストを意味するようになり「Xmas」の表記に流用された。これが正解であり「X'mas」は誤り。
- A2. × : 「クリスマス・イヴ」の「イヴ」(eve)とは「evening(イブニング、すなわち夜、晩)」と同義の古語「even」で、語末音が消失したもの。つまり「クリスマス・イヴ」とは「クリスマスの前夜」ではなく「クリスマス当日の夜」のこと。そして、ユダヤ教では日没から翌日とするため、24日の日没から「クリスマス当日の夜」で「クリスマス・イヴ」となる。このため24日の夜に教会で礼拝を守る。
- A3. × : よく「馬小屋でお生まれになった」と言われるが、聖書にそのような記述はない。当時、家畜は洞窟で飼うことが多かったため、馬小屋ではなく洞窟だった。現在、ベツレヘムの丘の東斜面にイエスが誕生したとされる洞窟があり、その上に大きな城壁のような誕生教会が建てられている。
- A4. × : 「東方の博士たち」がクリスマスの生誕劇に出てくるが、実は彼らはキリストの降誕からかなり遅れてやってきた。そのため、飼葉おけではなく「家」に移っていた。「学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。(マタイによる福音書2章10・11節)」。
- A5.(1)が正解 : 4世紀頃の東ローマ帝国・小アジアのミラの司教(主教)、教父聖ニコラオス(ニコラウス)の伝説が起源だと言われている。彼は教会で聖人として列聖されたため、「聖(セント)ニコラオス」という呼称が使われた。それをオランダ語にすると「シンタクラス」となる。その後、17世紀アメリカに植民したオランダ人が「サンタクロース」と伝えそれが語源になったという説が有力である。
- A6.(1)が正解 : 1552年、戦国時代の山口の地で12月24日に宣教師らによって日本で最初のクリスマスが祝われた。当時の日本では、クリスマスを「ナタラ」と言った。そのことから山口市は、2008年以降毎年12月限定で「クリスマス市」に改名しており、この期間中の山口市宛ての郵便物は「クリスマス市」宛て届くそうである。
- A7.(1)が正解 : 日本で最初のサンタクロースの絵は「北国の老爺三太九郎」。進藤信義が日曜学校の

子ども向き教材として書かれた『さんたくろう(教文館、1897年)』だと言われている。この三太九郎は、トナカイではなくロバを従え、一方の手にクリスマスツリーを、もう一方の手に杖を持っている。

このクイズをワイズや家族などの集まりで活用して頂ければ幸いだ。



【11月例会報告】

11月の例会は5日にワイズメンバー4人ならびに今回のブリテンに巻頭言を書いていたいただいた茨城YMCAスタッフの稲川さんと櫻井さんに参加していただき、zoomによるオンラインで開催いたしました。



今回は、それぞれのメンバーの報告ならびに今後の計画の協議が中心となりました。しかし前述の稲川さんには、通常の卓話に匹敵するような自己紹介を行っていただき、意見交換も盛り上がりました。

■第11回チャリティーゴルフ(10/13実施)報告(実行委員長：稲本副会長から)

- ・参加者数：125名
- ・収益：約70万円(つくば市、土浦市、牛久市の社協への寄付、茨城YMCAの障がい児向けプログラムの資金に活用)
- ・雨模様のなか、YMCAのスタッフさんにも協力いただき感謝

■第7回チャリティーラン(11/20実施)計画(実行委員長：熊谷会長から)

- ・参加チーム：当クラブより1チーム出走、熊谷、稲本、宮田、りょうちょう青山(代走)
- ・スポンサードチーム：たんぽぽクラブBチームの参加費をサポート
- ・会場：例年の会場(洞峰公園)を借りることができず、みどりの本館での実施に変更
- ・競技ルールは例年通り申告タイムに最も近い実走タイムを表彰→今回は1周280mのコース設定を行い、1人が3周して次のランナーにたすきを渡す形式とした

■茨城 YMCA への支援

- ・みどりのみらい募金に協力
- ・ボランティアリーダー研修費に補助
- ・チャリティーランに例年同様のサポート

■クリスマス例会の計画

- ・日程：12/3(金)19:00～
- ・場所：筑波学園教会礼拝堂
- ・メッセージ：福島純雄牧師（会長から依頼済）
- ・開催スタイル：リアル開催（ハイブリッドの準備も行う）
- ・食事：今後の状況をみて検討

■例会ゲストの自己紹介

- ・巻頭言執筆者（タスキー稲川さん）
- ・現在は茨城 YMCA で調理師として働いている。また趣味として畑を借りて野菜栽培に挑戦している。サイクルスポーツへの熱意も持っている。
- ・社会貢献トライ：「わいわいサービス」の紹介

■連絡主事より茨城 YMCA 報告

- ・みどりの本館の状況報告
→インフラが徐々に整いつつある
電気と水（トイレ）が使用可能（飲用は水質検査まで保留）になった
→理事会をみどりの本館ではじめて開催した
→11月末までには電話とFax、そしてインターネット接続環境も利用可能になる予定
- ・つくば市の保育助成に申請中
- ・上記と並行して社会福祉法人取得準備
- ・チャリティーイベントとしてバザー、十勝じゃがいも販売を実施した
- ・みどりのみらい募金については、他ワイズメンズクラブを含め多くの協力が得られていることに感謝
- ・自治体の指定管理事業受託に現在数件応募している

11月例会（リモート開催）出席状況

会員：4名（稲本、大澤、熊谷、村田）、メネット：0名、スタッフ：0名、リーダー：0名、ゲスト：2名（稲川、櫻井）、出席総数：6名、在籍者会員数：9名、会員出席率：44%

（書記 村田）

【事務報告】

会計報告（10月8日～11月4日）

前月繰越金…………… ¥455-
 会費…………… ▲¥24,000-
 チャリティーランチームサポート ▲¥16,000-
 チャリティーラン代走依頼…………… ▲¥4,000-
 次月へ繰越…………… ¥4,455-

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き

続き会費の前納について、ご協力を賜りたく願います。

（会計 柳瀬）

【チャリティーラン報告】

11月20日(土)、茨城ワイズメンズクラブは、茨城YMCA主催の第7回インターナショナルチャリティーランに協賛・協力いたしました。昨年は新型コロナ禍のためにやむなく中止となりましたが、「今年こそは」と実行委員会スタッフが現在の状況に合わせたきめ細かな準備を行い、2年ぶりの開催が実現いたしました。

新型コロナの状況は、だいぶ落ち着いてきてはありましたが、じゅうぶんな感染対策を行っての開催でした。また今回は、茨城YMCAが新しく取得し、現在整備を行っております「みどりの本館」での開催となり、良いお披露目の場にもなりました。



当日は好天に恵まれ、エントリーした18チームは、青空のもと元気にコースを走りました。そしてレース後に行われたチャリティーラッフルも大いに盛り上がりしました。



経費を差し引いた約50万円のご寄付につきましては、茨城YMCAの障がい児向けプログラムのために有効に活用させていただきます。

ご協力いただきました皆さまとスタッフの皆さまに、改めて感謝を申し上げます。

（実行委員長 熊谷）

【茨城 YMCA 報告】

11 月の報告

- 1 日 早天祈祷会
- 1 日 リソモビチームミーティング
- 2 日 中期計画小委員会
- 5 日 幼保オリーブお芋ほり
- 6 日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」
- 8 日 主任会
- 8 日 東新井主任会
- 9 日 チャリティーラン実行委員会
- 10 日 国際 MTG
- 10 日 中期計画委員会
- 11 日 アフタースクール部会役員会
- 11 日 日本語クラス MTG
- 14 日 高学年デイキャンプクラブ「トムソーヤ」
- 16 日 火災避難訓練
- 17 日 職員礼拝/職員会
- 18 日 牛久オリーブ健康診断
- 18 日 じゃがぼちゃ反省会
- 20 日 チャリティーラン
- 20 日 障がい児者自立支援事業「たんぽぽクラブ」
- 20 日 フットサル観戦プログラム
- 20 日 牛久シャトーガーデンマルシェ
- 22 日 学童研修会
- 22 日 幼保オリーブ交通安全教室
- 22 日 中高生居場所プログラム「クローバー」
- 23 日 東日本役員研修会
- 24 日 国際 MTG
- 25 日 幼保オリーブ健康診断
- 25 日 中・韓国語クラス MTG
- 25 日 東新井幼保オリーブ健康診断
- 27 日 未就学児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」
- 27 日 赤い羽根共同募金街頭募金
- 27-28 日
ユースキャンプ@みどりの本館
- 30 日 全国 YMCA 子育て子育て推進会議

12 月の予定

- 1 日 リソモビチームミーティング
- 3 日 ホームページ委員会
- 4 日 小学生クリスマス祝会

- 4 日 冬キャンプ顔合わせ会
- 6 日 早天祈祷会
- 6 日 アフタースクールシェアミーティング
- 6-8 日
スキーディレクタートレーニング
- 7 日 国際 MTG
- 9 日 主任会
- 9 日 東新井主任会
- 10-11 日
牛久センターお泊り会
- 10-12 日
北関東スキーリーダートレーニング
- 15 日 職員礼拝/職員会
- 17 日 東新井幼保オリーブクリスマス祝会
- 18 日 障がい児者自立支援事業「たんぽぽクラブ」
- 18-19 日
日帰りスキーリーダートレーニング
- 25-28 日
冬スキーキャンプ
- 27-28 日
家庭保育協力日
- 12/28-1/3
年末年始休館

(連絡主事 大澤)

【編集後記】

今年もあっという間に 12 月となりました。緊急事態宣言の続く日々のなかで zoom 例会が定着し、秋以降はほぼ例年通りのイベントも開催でき、着実に前進した 1 年だったように思います。また、みどりの本館を取得し、その整備にもワイズメンズクラブとして大いに協力できたことは誇らしいことです。みどりの本館でのお花見ができるような春が訪れることを願っています。

来年も、どうぞよろしく願いいたします。
(書記 村田)

冬なのに、もうすぐ 12 月なのに過ごしやすい日々が続きます。しかし逆に、来年になってからの春夏秋の天候が気になります。台風、豪雨、猛暑、渇水・・・地球規模の温暖化は、まちがいなく進んでいるようです。真剣に SDGs を意識しなければ・・・と思う今日この頃です。

来年も、どうぞよろしく願いいたします。
(会長 熊谷)